

(別表 2-1) 子育て支援員専門研修 (地域保育コース)

1. 共通科目

科目名	区分	時間数	内 容	目 的
1. 地域保育の基礎を理解するための科目				
①乳幼児の生活と遊び	講義	60分	①子どもの発達と生活 ②子どもの遊びと環境 ③人との関係と保育のねらい・内容 ④子どもの一日の生活の流れと役割	①発達・成長過程に応じた子どもの生活への援助方法について理解する。 ②発達にふさわしい子どもの遊びとその環境のあり方について理解する。 ③子ども同士の関わりあい、発達を促すことについて理解する。 ④子どもの一日の生活の流れの中での保育者(※)の役割について理解する。 ※【共通科目】において、保育者とは、家庭的保育補助者、保育従事者及び提供会員をいう。
②乳幼児の発達と心理	講義	90分	①発達とは ②発達時期の区分と特徴 ③ことばとコミュニケーション ④自分と他者 ⑤手のはたらきと探索 ⑥移動する力 ⑦こころと行動の発達を支える保育者の役割	①0歳から3歳くらいまでの乳幼児期の発達のポイントを学び、発達に応じた遊びやその安全性について理解する。 ②子どもの発達を支える保育者の役割について理解する。
③乳幼児の食事と栄養	講義	60分	①離乳の進め方に関する最近の動向 ②栄養バランスを考えた幼児期の食事作りのポイント ③食物アレルギー ④保育者が押さえる食育のポイント	①離乳の進め方に関する最近の動向について理解する。 ②幼児期の昼食作りに役立つ栄養バランスのポイント、食品衛生の基礎知識について理解する。 ③食物アレルギーについて理解する。 ④保育者が押さえる食育のポイントについて理解する。

④小児保健Ⅰ	講義	60分	①乳幼児の健康観察のポイント ②発育と発達について ③衛生管理・消毒について ④薬の預かりについて	①保育を行う上で必要となる健康管理のポイントや疾病の予防と感染防止への対応、保育中の発症への対応などの基礎知識について理解する。 ②現場に生かせる、より具体的な対応について理解する。
⑤小児保健Ⅱ	講義	60分	①子どもに多い症例とその対応 ②子どもに多い病気（SIDS等を含む）とその対応 ※「保育所におけるアレルギー対応ガイドライン」「保育所における感染症対策ガイドライン」を周知する。 ③事故予防と対応	①子どもに多い症状・病気を学び、その対応について理解する。 ②小児に多い事故を学び、その予防と対応について理解する。 ③異物除去法、心肺蘇生法を学び、緊急時の対応について理解する。
⑥心肺蘇生法	実技	120分	①心肺蘇生法、AED、異物除去法等 ※見学だけの科目にならないよう参加人数等の配慮が必要。	①乳幼児を対象とした救急救命が行えるように、その技術を身につける。
2. 地域保育の実際を理解するための科目				
⑦地域保育の環境整備	講義	60分	①保育環境を整える前に ②保育に必要な環境とは ③環境のチェックポイント	①保育環境の整備に当たり、基本的な考え方と配慮事項について理解する。 ②保育を行うために作られた場所ではないところを保育の場として利用する上での工夫や配慮について理解する。 ③保育に必要な設備・備品とその配置について、具体的事例およびチェックポイントを示し、自己点検を行えるようにする。
⑧安全の確保とリスクマネジ	講義	60分	①子どもの事故 ②子どもの事故の予	①保育環境上起こりうる危険について学び、事故を未然

メント			<p>防保育上の留意点</p> <p>③緊急時の連絡・対策・対応</p> <p>④リスクマネジメントと賠償責任</p>	<p>に防ぐための予防策や安全確保の留意点について理解する。</p> <p>②万一事故が起こった場合の対応や報告について理解する。</p>
⑨保育者の職業倫理と配慮事項	講義・演習	90分	<p>①保育者の職業倫理</p> <p>②保育者の自己管理</p> <p>③地域等との関係</p> <p>④保育所や様々な保育関係者との関係</p> <p>⑤行政との関係</p> <p>⑥地域型保育の保育者の役割の検討(演習)</p>	<p>①保育者としての職業倫理について理解する。</p> <p>②保育者の自己管理について理解する。</p> <p>③地域住民との関係づくりについて理解する。(家庭的保育における家庭的保育者の家族との関係にも留意する。)</p> <p>④保育所や様々な保育関係者との関係づくり、行政との関係などについて理解する。</p> <p>⑤児童虐待が疑われた場合の保育者としての対応について理解する。</p>
⑩特別に配慮を要する子どもへの対応(0～2歳児)	講義	90分	<p>①気になる行動</p> <p>②気になる行動をする子どもの行動特徴</p> <p>③気になる行動への対応の考え方</p> <p>④気になる行動の原因とその対応</p> <p>⑤保育者の役割</p> <p>⑥遊びを通して、子どもの発達を促す方法</p>	<p>①0～2歳の気になる行動をどのように考え、どう関わっていけばよいかを行動特徴の把握などを通して理解する。</p> <p>②特別に配慮を要する子どもへの対応における保育者の役割について理解する。 ※ 発達の遅れが疑われる場合、保護者の思いを踏まえた上での対応の必要性について理解する。 (専門機関との連携を含む。)</p> <p>③遊びを通して、子どもの発達を促す方法について理解する。</p>
3. 研修を進める上で必要な科目				
⑪グループ討議	演習	90分	<p>①討議の目的</p> <p>②討議の原則</p> <p>③討議の効果</p>	<p>①研修参加者が討議のテーマにそって話し合うための方法やマナーについて理解する。</p>

			④討議のすすめ方 ⑤グループ討議（演習）	<p>る。</p> <p>②テーマについて、自分の意見を述べたり、他の参加者の意見を聞く相互作用を通して、考えをまとめ、問題点を整理し、解決方法を検討する。</p> <p>③今後学びたい内容あるいは助言者に質問したいことなどを、グループ内で話し合う。</p> <p>④研修で学んだこと等についてグループ討議を行い、理解を深める。</p>
4. 自治体の制度や地域の保育事情等を理解するための科目				
⑫実施自治体の制度について（任意）	講義	60分 ～ 90分	①関係機関 ②地域資源	<p>①実施自治体の保育関係施策や関係機関について理解する。</p> <p>※ 一時預かり事業を含めた地域子ども・子育て支援事業について理解する。</p>